

鳴海ヶ丘新聞

第3号
2019年3月



劇あそび発表会

二月十七日(日)
豊明市文化会館にて



役になりきって演じ、クフスみんな力を合わせて劇を作り上げました。表情、声色、身体表現、クフスの絆など、劇あそびは演じる子どもたちも鑑賞する側も、心を揺さぶられる瞬間がたくさんあります。当日は、子どもたちのエネルギーと成長を感じる発表会となりました。

CCNetの取材

1月16日(水)

将来の夢を語った青組さん。マイクを向けられると、ドキドキしましたね。また『ヒーロー』の合唱は、一体感のある、心に響く歌声でした。



なわとびオリンピック

2月22日(金)



赤組青組の子どもたちは、3学期、この大会を目標に、毎日縄跳びの練習に励みました。特に青組さんは、多くの子がいろいろな跳び方ができるようになり、白熱した決勝戦となりました。



文化芸術プログラム

3学期は、『雅楽の舞』と『バレエ』の世界を体験しました。日本古来の儀式音楽で舞う雅楽の舞、そしてオペラと共にロシアで発展したバレエ、それぞれの独自の奥深い世界観を、子どもたちははたっぶり味わいました。



卒業記念植樹

三月八日(金)

ヒトツバタコ(通称なんじゃもんじゃのぎ)が今年度の卒業記念樹です。なるなる畑の中央に、青組さんと若草会総務・修了委員の皆様で植樹しました。この木は、ゆっくりに時間をかけて生長し、3〜4mほどの高さになり、四月中旬から五月頃まで、プロペラ型の雪のような白い花を咲かせるそうです。青組の皆さんが大人になったら、是非幼稚園を訪れ、なんじゃもんじゃの木に語り掛けてください。幼稚園の楽しい思い出が蘇ってくることでしょう。



おわかれ会

三月十一日(月)

黄赤組さんの拍手に迎えられ、青組さんにはかみながら入場し、会が始まりました。ゲームをしたり、学年ごとに心を込めて歌を歌ったり…。そして会の終わりには、黄赤組さんが一生懸命作ったペンギン立てを、青組さんにプレゼントしました。

ペンギンの顔(黄組)



紙コップの絵(赤組)

カラー粘土を型抜き(黄組)

『早春よもやま話』

昨年未、京都から園部へ向かう列車の中で、向かい合いの客席で二人の子どもに父親が話しています。「何やるにしても、楽しくやる精神が大事!」父親の熱弁に幼稚園児らしき子は、きょとんとし、小学生低学年の子は、うっむき加減の渋い顔で聞いています。その後、会話をきいていると、とうやら今から4時間ぐらい家族で山登りをするようです。母親が「大丈夫だよ、いっしょに行こう」と呼びかけ、程なく、深谷のある亀岡駅で、おりにきました。どんな体験も初めは不安や、やりたくない事もあるでしょう。ただ、こんな家族の会話が後で懐かしい思い出となり、後にアスリートや立派な進路に導く「コマ」になると思います。やり抜く力、心の力は人格人生の基礎です。あそこ一ヶ月程で改元になります。平成天皇が在位三十年で国民に向けてメッセージを届けました。「私が天皇の務めを果たせたのは、過去から今に至る長い年月に日本人が作り上げてきた、この国の持つ民度のおかげでした。」民度は、親から子へ、先祖から子孫への教育の賜物です。新しい春、新しい年堂に胸をふくらませ、楽しくやり抜く日本人を、ご家族で育てましょう。

園長 岡田 勝彦